

令和7年度 事業計画

I 社会経済の動向と老人クラブを巡る主な情勢

1. 高齢者を巡る主な情勢

- 令和6年9月21日～23日に能登半島地方を襲った豪雨災害においては、1月に発生した能登半島地震災害の復旧・復興途上の地域に大きな被害を与えました。
このような二重被災を受けながらも高齢化の著しい被災地では、我々の仲間や多くの高齢者が頑張っています。
- 日本の総人口は、令和5年10月1日現在、1億2,494万2千人（前年比△59万5千人）で、65歳以上の高齢者人口は、過去最高の3,622万7千人（前年比△9千人）となり、総人口に占める割合（高齢化率）は29.1%（前年29.0%）となりました。また、75歳以上の後期高齢者人口も、過去最高の2,007万8千人（前年比＋71万3千人）となり、総人口に占める割合が16.1%（過去最高）という超高齢化社会を迎えています。
- 国においても、誰もが住み慣れた地域で生きがいをもって暮らし、共に支え合う「地域共生社会」の実現に向けた取り組みが進められています。さらに令和6年には孤独や孤立に悩む人をだれ一人取り残さない社会づくりを目指した「孤独・孤立対策推進法」と認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って地域で暮らすことを目的にした「認知症基本法が」施行されました。

2. 老人クラブの現状と課題

- 全国の老人クラブ数及び会員数は、平成11年度から毎年減少を続け、令和5年3月末時点で、81,579クラブ、4,053,362人となっています。（厚生労働省調査）
- 三重県においても、総人口の減少が続くなかで高齢者人口は増加を続けており、令和5年10月1日現在、総人口1,727,503人（前年比△15,200人）のうち、高齢者人口は520,888人（前年比△1,561人）で、高齢化率は30.2%（前年30.0%）となり、超高齢化が進んでいます。
一方、三重県老連のクラブ数及び会員数は、平成13年度から毎年減少が続き、役員の高齢化に伴う老人クラブの解散等も増えたことから、令和6年4月1日現在、809クラブ、59,434人となり、加入率は11.4%に低下しました。
- 3年以上にわたる新型コロナウイルスの感染のひろがり、社会全体に大きな影響を及ぼし、とりわけ高齢者の健康、生活、活動への制限や、社会的な孤立、孤独などといった事態を顕在化させました。地域において多様な活動を行う老人クラブの強みを生かして、「新しい生活様式」によるクラブ活動により、高齢者の「通いの場」「活動の場」を確保し、フレイル予防、社会的孤立の防止等に取り組む必要があります。

★ 令和5年10月1日現在の高齢者人口（65歳以上）

	(令和4年)		(令和5年)
65歳以上の人口	522,449人	→	520,888人
老人クラブ加入率	12.8%		11.4%

市町別会員一覧表（令和6年4月1日現在の会員数）

単位（人）

市町名	会員数	市町名	会員数	市町名	会員数
桑名市	6,727	尾鷲市	586	度会町	1,259
いなべ市	9,492	熊野市	645	大紀町	1,404
鈴鹿市	3,154	木曽岬町	124	南伊勢町	3,087
亀山市	1,173	東員町	1,775	紀北町	1,125
津市	6,998	菰野町	3,352	御浜町	280
松阪市	2,985	朝日町	224	紀宝町	1,048
名張市	2,306	川越町	966		1,142
伊勢市	3,701	多気町	815		
鳥羽市	1,782	大台町	557		
志摩市	2,521	玉城町	1,348	合計	59,434

- 令和5年中の三重県における交通事故の死者数は66人（前年比6人増）で、前年より増加しました。

このうち、65歳以上の高齢者の交通事故死者数は33人（前年比△8人）で、前年より減少し、高齢者の割合は50.0%となり、高齢者が半数を占めています。

また、交通弱者（歩行中・自転車乗車中）の死者数が25人（構成率37.9%）と、全体の半数近くを占めています。

シートベルトの着用状況は、自動車乗車中死者の着用率は44.4%（運転中47.4%、同乗中37.5%）でした。非着用者のうち、乗車中の死者27人中、シートベルトの非着用者9人（非着用率33.3%）となり、着用していれば助かった死者は7人（77.8%）と推定されています。

- 高齢者の活躍が期待される地域活動やボランティア活動では、地域環境美化活動、地域の伝統や文化を伝える活動、交通安全など地域の安全を守る活動、災害時の救援・支援活動、見守りが必要な高齢者を支援する活動、子どもを育てている親を支援する活動、などが行われています。

今後も、高齢者が住み慣れた地域で長く暮らし続けることができるように、これまでの「地域支え合い（友愛）活動」をより発展させ、地域の高齢者同士が互いに支え合う力を更に高め、高齢者の孤独・孤立の防止、認知症の正しい知識・理解の普及などに地域の関係団体等と連携・協働し、高齢者の知識と経験を生かした積極的な支援活動に取り組むことが期待されています。

Ⅱ 令和7年度 事業計画重点目標と展開

メインテーマ「のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」

1. 健康長寿をめざす「健康活動」の推進

- ① 高齢者の健康づくり事業の推進

2. 高齢期を豊かにする「生きがい活動」の充実

- ① 高齢者の生きがいづくり事業の推進

3. 暮らしを見守る「支え合い活動」の展開

- ① 地域支え合い・友愛活動の推進

4. あらゆる世代と連携した「地域貢献活動」の推進

- ① 老人の日・老人週間の周知と奉仕活動の推進

5. 高齢者のフレイルを予防する「仲間づくり」の推進

- ① 新規会員の勧誘と老人クラブ活動の活性化
- ② 次代の老人クラブ活動を担う若手リーダーの育成・登用
- ③ 女性リーダーの育成と女性の参画機会の拡大・登用

Ⅲ 令和7年度 事業の実施計画

第1 健康寿命の延伸、地域共生社会の実現に向けた老人クラブ活動の推進

一 高齢者の健康づくり・生きがいつくり活動

健康寿命をのばし高齢期を豊かにする、高齢者の健康づくりや生きがいつくり活動を推進する。

1. すこやかライフ三重のつどい（老人クラブ大会・芸能大会）

老人クラブ功労者や優良老人クラブの表彰等を行う「老人クラブ大会」と、各地域の高齢者が健康づくり・生きがいつくりのために、日頃から練習を重ねてきた踊り、ダンス、コーラスなどを発表する「芸能大会」の2大事業を「すこやかライフ三重のつどい」として実施する。

2. すこやかライフ三重「文化作品展」

会員等の創作による絵画、彫刻、手工芸、書、写真の各部門の作品を展示し、会員の創作活動、文化活動の活性化を図り、高齢者の生きがいつくりを推進する。

審査員の審査により、優秀な作品に対して、最優秀賞・優秀賞・入選等の賞を贈る。

＊ 最優秀賞の作品は、次年度の「ねんりんピック美術展」へ出品する予定。

二 高齢者相互支援・地域支え合い活動

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるように、高齢者の社会的孤立の予防、高齢者同士の支え合い活動などで老人クラブが主要な役割を担い、高齢者が安心して暮らせる地域共生社会の実現に寄与する。

1. 暮らしを見守る「支え合い活動」への取り組み

老人クラブがこれまで取り組んできた友愛活動や見守り・声かけ活動などの経験を活かして、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、高齢者の支え合い活動に取り組む。

2. 高齢者相互支援活動研修会

各地で行われている友愛活動や支え合い活動などの幅広い老人クラブ活動について、活動事例の発表と意見交換等を行い、高齢者の地域支え合い活動の普及を図る。

3. 老人クラブ「社会奉仕の日」活動

全国一斉「社会奉仕の日」（9月20日）を中心に、地域団体や住民と協力しながら、地域の緑化、美化、資源ゴミのリサイクル等の活動を中心に、幅広いボランティア活動に取り組む。

4. 老人クラブ高齢消費者被害防止活動の推進

高齢者の消費者被害（オレオレ詐欺など）が絶えないことから、引き続き、地域における啓発、見守り・声かけ活動等を強化し、高齢者の被害防止に取り組む。

三 老人クラブリーダーの育成・老人クラブ活動の活性化

高齢者の社会参加を呼びかけ、仲間づくりの輪を広げるためにも、老人クラブ活動の核となるリーダーの役割は大きいことから、老人クラブのリーダーを育成し、老人クラブ活動の活性化を図る。

1. 新規会員の加入促進

『組織活動は健康長寿の秘訣』の研究データ等を基に、老人クラブの仲間づくりが高齢者のフレイルを予防し、健康寿命をのばすことに大きな効果があることを積極的にアピールし、新規会員の勧誘活動等の取り組みを続けるとともに、老人クラブ活動の活性化を図る。

2. 老人クラブリーダー研修会

リーダーの育成と老人クラブ活動の活性化を図るため、女性リーダー等にも参加を呼びかけて、老人クラブが直面する課題等をテーマに研修会を実施する。

3. 三重老連健康づくり大学校「シニアカレッジみえ」

老人クラブの次代を担う若手リーダーの育成と、その学習内容の地域活動への還元を目的として、老人クラブ未加入者にも呼びかけて、毎年度開校地を変えて実施する。

4. 老人クラブ事務手続き等支援事業

- ①事務お助け隊委員会 随時
- ②サポート説明会及び講習会
- ③情報共有会の実施（26市町村老連）
- ④ステップアップ研修会の実施

5. 全老連、東海・北陸ブロック事業への参加

（1）全老連

ア. 全国老人クラブ大会

式典(表彰等)、講演、活動交流部会での事例発表・意見交換等

イ. 高齢者の健康づくり・生活支援セミナー

地域における健康づくりと支え合い活動を推進するリーダーの育成研修

（2）東海・北陸ブロック

ア. 老人クラブリーダー研修会

基調報告、事例発表、基調講演及びパネルディスカッション等

四 広報活動

1. 機関紙「すこやかライフ三重」の発行

三重県老連の事業計画や事業実施状況、全老連等の新たな取り組みの紹介、各市町の老人クラブ活動を紹介する「各地のたより」等を掲載する機関紙を年2回発行する。

市町老連を通じて各単位クラブに配布するほか、事業会場等においても配布する。

2. ホームページによる情報発信

ホームページを適宜更新し、インターネットを通じた情報発信を行う。

3. 交通安全啓発の推進

年間を通じて行われる交通安全運動について、県老連の機関紙や主催事業の冊子等に掲載して配布し、啓発活動を実施する。

第2 その他の主要な事業の内容等

1. 三重県老連主催旅行事業

- (1) 冬の交歓会
- (2) 国内旅行、海外旅行

2. 老人クラブ会員章・会員手帳の普及

会員一人ひとりの意欲とクラブの誇りを示すシンボルとして、仲間、連帯のしるしとして、会員章と会員手帳を有償で販売し、普及を図る。

3. 活動日誌・会計簿の普及

老人クラブ活動の計画化と記録性の向上を目的に、全老連発行の活動日誌と会計簿を斡旋販売し、普及を図る。

4. 老人クラブ傷害保険・賠償責任保険の加入促進

老人クラブ会員のケガ等に対する少額掛金の傷害保険、並びに老人クラブ活動中に他人の物を壊したりケガをさせたりした時の賠償責任保険について、加入促進を図る。

5. 老人クラブ名簿の作成

各単位老人クラブの名称や会員数を記載した「老人クラブ名簿」を作成する。
作成した名簿は、関係機関や各市町老連に配布する。

6. 老人クラブ実態調査の課題解決

第3 法人の運営

1. 役員会

- (1) 理事会
- (2) 評議員会
- (3) 正副会長会議
- (4) 監事会

2. 郡市老連会長会議

- ① 会長会議
- ② 地域会議

3. 女性委員会

- ① 女性委員会
- ② 交流会

4. 事務連絡会議

- ① 郡市老連事務局長・事務担当者会議